



# 地域と共に

平成30年4月号 (春季号)

Vol.74

- 新院長 ご挨拶
- 前院長 ご挨拶
- 診療科紹介 第2回 乳腺外科
- 地域連携セミナーを開催
- 訪問看護ステーション
- 春の市民公開講座を開催いたします
- 地域包括支援センターとの連携事業

## 基本方針

1. **患者第一主義** 常に診療を受ける皆様の立場で考え誠実に行動します。
2. **安全確保** すべての診療現場で患者の皆様が安心できる環境を作り、安全で質の高い医療を提供します。
3. **社会貢献** 良質な医療提供を基本として積極的に社会に貢献をします。
4. **公正で透明性のある病院** 高い倫理観に基づき様々な情報を開示します。
5. **働きがいのある職場作り** 創造性、主体性を尊重しあい自由に働きやすい職場を実現します。



<http://www.sagaminojcho.go.jp>



**Security**  
優れた安全対策で皆様を守ります。

**Service**  
先進の医療を快適に提供します。

**Speed**  
すべてに迅速な対応を心がけます。

**Sympathy**  
患者の皆様と想いを共有します。

# 就任のご挨拶

院長 野田 吉和



本年4月1日付でJCHO相模野病院長を拝命いたしました。  
JCHO相模野病院は、独立行政法人地域医療推進機構（JCHO：ジェイコー）グループの病院として、機構の使命である地域医療と地域包括ケアの推進に基づき、『地域と共に』を基本的な考え方として地域に必要な医療を提供しております。

近年、医療を取り巻く情勢は刻々と変化しています。国は地域完結型の医療体制を構築する施策として地域包括ケアシステムを推進しており、病院は地域医療における病床機能分担を求められ分化されていきます。変化する医療環境に対して地域が求める医療は何か、あるいは必要な医療は何かを常に考え、地元病院群、医師会、行政、さらに住民の皆様のご意見をいただきながら、当院で提供できる医療の幅を広げられるよう努力してまいります。

当院は、これまで地域の皆様からの要望とご支援により、周産期母子医療や救急医療を中心に急性期医療を展開してまいりました。この診療体制は近隣大学病院との人的質的連携の賜物と感謝し、今後も更なる連携を図り充実した医療体制の継続を目指してまいります。

また、健康管理対策として疾病の予防・早期発見のための健康診断も重要です。当院健康管理センターは、健診者のニーズに沿った質の高い検査を提供しております。これからも地域の皆様の健康維持に積極的に寄与したいと考えております。

JCHO相模野病院は、医療の質の向上と安全の確保に向けて、職員一同更なる研鑽・努力を重ねてまいります。今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 長い間ありがとうございました

前院長 大井田 正人



現在の私の気持ちを言葉で表わすと、「無事、何とか卒業できました!」ではないでしょうか。平成12年4月に旧社会保険相模野病院に着任してから16年になりました。着任当初は赤字病院の立て直しのため、前々院長（現JCHO理事）の内野先生を先頭に全職員が一丸となって頑張ってきました。私は全病院職員、医師会、病院協会、歯科医師会、薬剤師会、市役所・保健所等の行政、更には地元自治会の方々とチームワークを組み、JCHO病院として患者さん中心の医療を行えたのではないかと考えています。これは、ひとえに皆様からのご指導・ご鞭撻の賜物と心より感謝しております。

ただ、医療を取り巻く環境は決して順風満帆ではありません。必要な医師数が足りないことにより、特定の診療科では厳しい過重労働をお願いせざるを得ない現状もあります。これからは、医師の生命を守るためにはやむを得ず医療サービスを少し割愛することも検討せざるを得ないことと考えております。

引き続き皆様からの当院へのご支援を賜りますようお願い申し上げ、感謝の言葉といたします。ありがとうございました。

# 乳腺外科

外科 医長 藁谷 美奈

## 診療科紹介

第2回



こんにちは。今回は乳腺外科を紹介します。

乳腺の病気というと婦人科をイメージする人が多いのではないのでしょうか。実は診療科は外科になります。日本では、年間乳癌にかかる人が、平成21年では4万人だったのが平成29年には9万人と急上昇しており、12人に1人が一生のうちに乳癌にかかる時代になりました。そのため、乳腺外科がホットな話題になっています。

乳癌は、小さいうちに発見されると治る病気の一つです。そのためには検診でマンモグラフィを受けるといふ勇気が必要です。「痛い」といわれますが、乳房を

のし餅のように平たくすることで、小さながんを見つけることができます。当院外科のマンモグラフィ読影医は4人おり、どの医師も経験豊富で読影能力に優れています。ぜひ検診をお受けください。

「要精査」と判定された場合、乳腺専門医がいる医療機関を受診する必要がありますが、ラッキーなことに当院は女性の乳腺専門医が2名常勤医としています。女性の乳腺専門医が2名以上いる病院は、相模原市では当院のみです。大学病院ではない市中病院に女性の乳腺専門医2名というこの特性を生かすべく、精密検査が必要な患者様には迅速に組織生検を行い、初診から治療方針決定までを約3週間で行うよう、スピードを重視して診療しています。乳癌と診断された場合、乳癌ガイドラインを熟知した上で患者様一人ひとりに合った治療方針を考えたチーム医療を提供しています。おかげさまで、近年は新規患者様の紹介率も手術件数も平成25年と比較して倍以上に増加しています。さらに、相模原市乳がん検診やその判定業務にも携わり、地域医療に根ざした医療を行っています。

皆さんも月に一回自己触診を行い、前の月と比べて変化を感じたら、その時点で外科(乳腺外科)を受診しましょう。

## 地域連携セミナーを開催

### 「オピオイドを上手に使う

#### ー新薬ヒドロモルフォンを含めた臨床使用ー

平成30年2月28日、北里大学医学部附属新世紀医療開発センター疼痛学教授 金井昭文先生をお招きして、第21回地域連携セミナーを開催いたしました。お忙しいなか多くの先生方にご参加いただき、ありがとうございました。



## 相模野病院附属訪問看護ステーション

### 「住み慣れた場所でその人らしく」を支援します

相模野病院附属訪問看護ステーションは、平成28年10月1日から訪問看護ステーションとしての活動を始めて1年半が経過しました。地域の医療関係者ならびに居宅介護支援事業所のご支援のおかげで、少しずつ利用者も増えています。私たちは、利用者が住み慣れたご自宅で、その人らしく生活できるよう、一人ひとりの状況に合わせた質の高い看護を、真心こめてお届けしたいと考えています。そのためには、全てのスタッフが自己研鑽に励み、利用者が安心・安全で快適な在宅生活を継続できるよう支援して参ります。

病院の基本方針である「地域と共に」の心を大切に、在宅療養後方支援病院でもある相模野病院の附属訪問看護ステーションとしての私たちの役割を果たしていきたいと思っています。皆様のご指導・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



### 「肺癌という病気」 -最近の話題と検診のすすめ-

健康管理センター副センター長 矢那瀬 信雄 医師  
平成30年5月30日(水)14時より 当院7階講堂  
たくさんの皆様のご来場をお待ちしております

### 地域包括支援センターとの連携事業



当院では、地域の高齢者に向けた地域介護予防事業への協力を行っています。平成29年度は、介護予防教室の会場提供など5回の連携を行いました。

2月22日(木)当院講堂にて、大野北第1高齢者支援センターの「ここからはじまる“ちえ講座”」が開催されました。今回は、当院健康管理センター部長の吉田医師が「健康寿命をのばすために」と題し、健康寿命を延ばすことの意義や秘訣について講演いたしました。当日は高齢者を中心に65名の地域の皆さまが熱心にお話を聞いていらっしゃいました。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

**相模野病院**

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-2-30  
TEL:042-752-2025(代) FAX:042-754-9543(代)